

# 職業としての公認会計士

福井県立大学

令和4年12月9日

公認会計士・監査審査会 常勤委員  
青木 雅明

# 今回の講演会の目的

## 公認会計士という職業の魅力を理解していただく

### キーワード

- ・ 資本市場
- ・ 監査
- ・ 公認会計士
- ・ 職業としての魅力

# 資本市場

- ・ 企業が事業を継続し、成長させていくためには資金が必要
- ・ 資本市場：資金の調達を行うための市場
- ・ （潜在的な）投資家
  - ・ 資本市場で株や債券を取引する
  - ・ 企業から公開されている会計情報（財務諸表）を参考にする
- ・ （潜在的な）投資家が会計情報に求めること
  - ・ 比較可能性 → 会計基準
  - ・ 情報に嘘がない → 監査

# 監査

- ・ 監査：会社の会計や経営を監督し検査すること。
- ・ 投資家が財務諸表で示されている会計情報について求めること→信頼性
- ・ 財務諸表の信頼性を保証するためには？
  - ・ 情報の利用者が自分で確認することは不可能
  - ・ 専門家に調査してもらい、お墨付きをもらう → 公認会計士

# 公認会計士(1)

- ・ 監査を職業とする専門家
- ・ 公認会計士の使命(公認会計士法第1条)
  - ・ 公認会計士は、監査及び会計の専門家として、独立した立場において、財務書類その他の財務に関する情報の信頼性を確保することにより、会社等の公正な事業活動、投資者及び債権者の保護等を図り、もって国民経済の健全な発展に寄与することを使命とする。

# 公認会計士(2)

- ・ 公認会計士の業務(公認会計士法第2条)
  - ・ 公認会計士は、他人の求めに応じ報酬を得て、**財務書類の監査**又は証明をすることを業とする。
  - ・ 公認会計士は、前項に規定する業務のほか、公認会計士の名称を用いて、他人の求めに応じ報酬を得て、財務書類の調製をし、財務に関する調査若しくは立案をし、又は財務に関する相談に応ずることを業とすることができる。
  - ・ 新規株式公開(IPO)支援、コンサルティング、組織内の決算業務・財務管理・内部監査、官公庁における会計検査・税務調査

# 会計大学院と公認会計士

- ・ 会計大学院
  - ・ 2005年以降全国に設置された専門職大学院。現在12校ある。
- ・ 会計大学院の利点
  - ・ 短答式試験4科目のうち3科目（財務会計・管理会計・監査）免除。
  - ・ 会計を基礎から体系的に学ぶことができる。
  - ・ 実践的な科目を学ぶことができる。
  - ・ 公認会計士になってから役立つ知識を学ぶことができる。
  - ・ 会計の専門家を求めている企業が一定数存在する。
  - ・ Research Paper（修士論文）を書くことにより、税理士試験の科目免除を受けることができる。
  - ・ 博士後期課程へ進学可能。

# 職業について何を求めるか？

- ・ 背景：高齢化と労働人口の減少
- ・ 満足感・充実感（私が個人的に重視してきたこと）
  - ・ 社会に貢献している実感
  - ・ 自分の努力が報われ、自分の成長を実感できる
  - ・ チャレンジング
- ・ リスクが小さい（一般的に求められること）
  - ・ 拡張性が高い
  - ・ 年収



# 公認会計士という職業の魅力

- ・ 社会貢献
  - ・ 経済の発展に寄与
  - ・ 公正なことを行なっている
- ・ 多種多様なキャリア
  - ・ 長く働くことができる
  - ・ 個人会計事務所
  - ・ 税理士
  - ・ 社外取締役
  - ・ 企業内会計士
- ・ 監査の必要性
- ・ グローバルに活躍
- ・ CFO
- ・ 研究者
- ・ 専門職（プロフェッショナル）
  - ・ 新しい知識を吸収(CPE)
  - ・ 得意な分野を見つける
- ・ 年収
  - ・ 高い？

# 公認会計士の魅力（まとめ）

- ・ 成功するも失敗するも自分次第
  - ・ 一生努力し、成長できる
  - ・ 新しいことを見つけチャレンジできる
- ・ 自分の可能性を伸ばすことができる
  - ・ 選択肢が多い
- ・ 社会への貢献
- ・ 公認会計士が不足している

# 公認会計士試験に合格するためには？

- ・ 努力しかない
  - ・ 2年間で5,000時間
  - ・ 会計関連科目はやればやるほど力がつく
  - ・ 合格する人は、他の分野でも成功する可能性が大きい
- ・ 合格する人の特徴
  - ・ 試験に合格することが目標ではなく、合格後のことを考えている

# 資料1(1)

## ・ 公認会計士試験合格者

年 別	出願者 A	論文式受験者 B	合格者 C	合格率	
				C/A	C/B
平成29年	11,032人	3,306人	<b>1,231</b> 人	11.2%	37.2%
平成30年	11,742人	3,678人	<b>1,305</b> 人	11.1%	35.5%
令和元年	12,532人	3,792人	<b>1,337</b> 人	10.7%	35.3%
令和2年	13,231人	3,719人	<b>1,335</b> 人	10.1%	35.9%
令和3年	14,192人	3,992人	<b>1,360</b> 人	9.6%	34.1%

(公認会計士・監査審査会『目指せ、公認会計士!』)

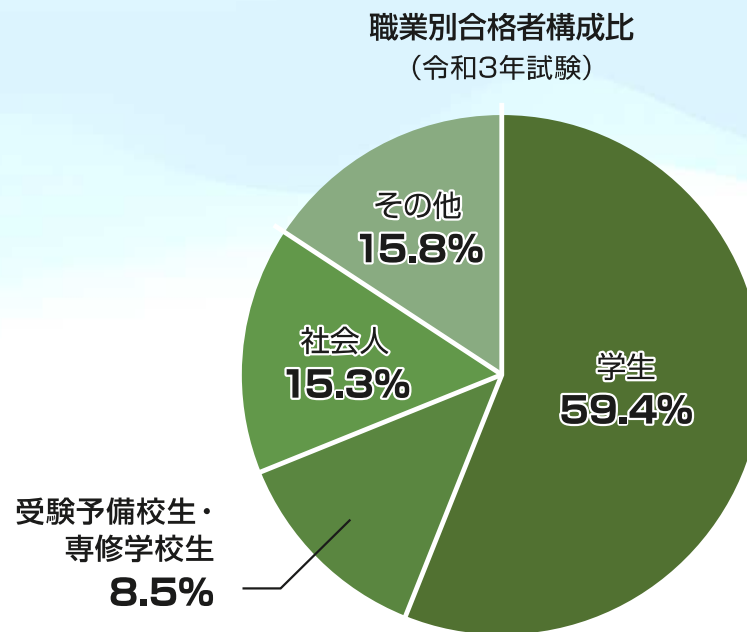
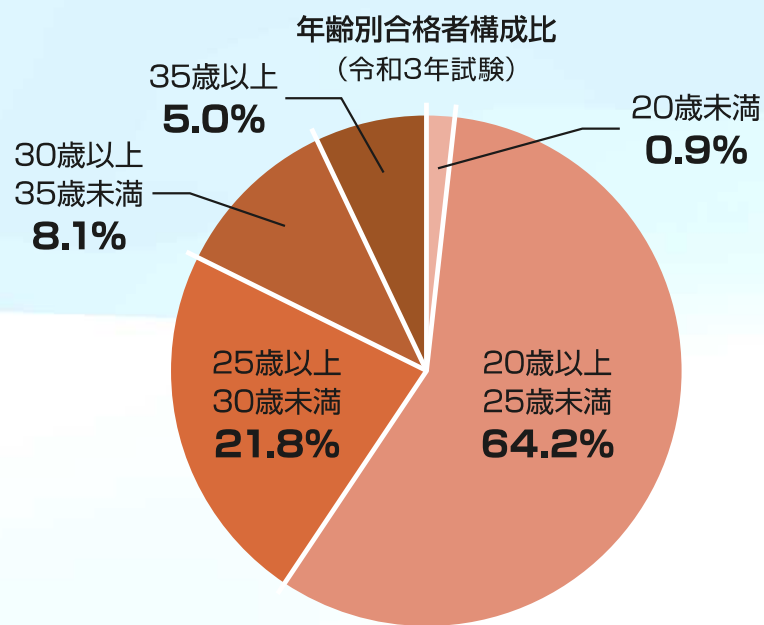
## 資料1(2) 令和4年まで

- 公認会計士試験合格者

年別	出願者 A	論文式受験者 B	合格者 C	合格率	
				C/A	C/B
平成29年	11,032	3,306	1,231	11.2%	37.2%
平成30年	11,742	3,678	1,305	11.1%	35.5%
令和元年	12,532	3,792	1,337	10.7%	35.3%
令和2年	13,231	3,719	1,335	10.1%	35.9%
令和3年	14,192	3,992	1,360	9.6%	34.1%
令和4年	18,789	4,067	1,456	7.7%	35.8%
合計	81,518	22,554	8,024	9.8%	35.6%

# 資料1(3)

## ・ 公認会計士試験合格者内訳



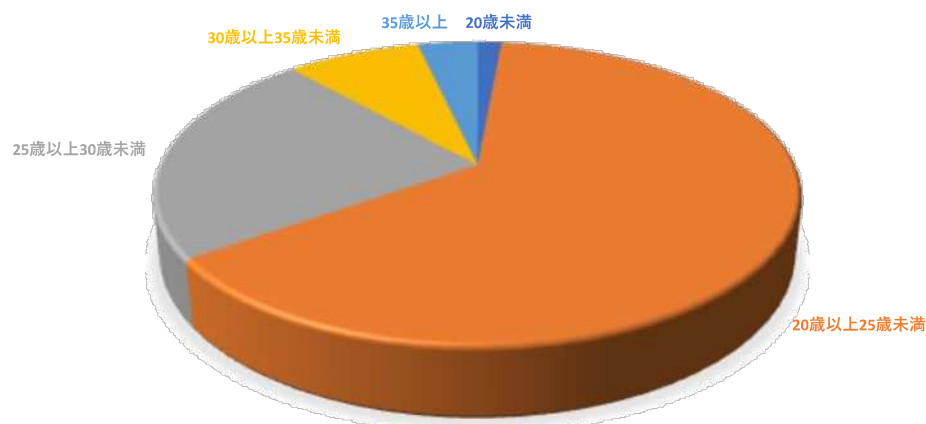
(公認会計士・監査審査会『目指せ、公認会計士!』)

公認会計士・監査審査会

# 資料1(4) 令和4年

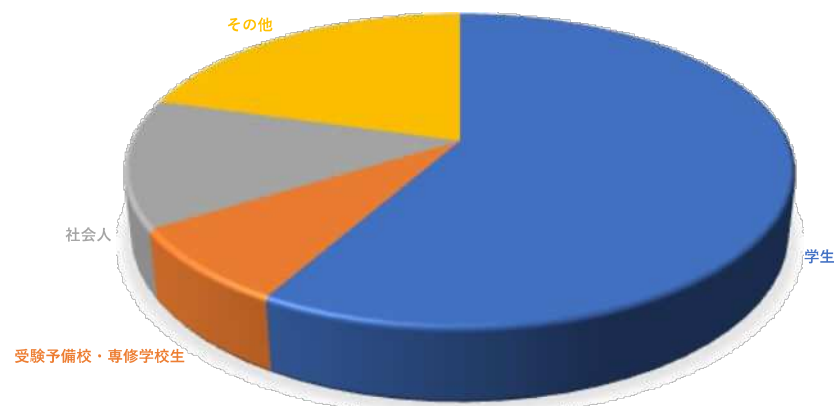
## ・ 公認会計士試験合格者内訳

年齢別合格者構成比



20歳未満	1.44%
20歳以上25歳未満	63.80%
25歳以上30歳未満	23.15%
30歳以上35歳未満	8.04%
35歳以上	3.57%

職業別合格者構成比



学生	58.24%
受験予備校・専修学校生	7.90%
社会人	13.26%
その他	20.60%

# 資料2

- ・ 公認会計士・監査審査会について
  - ・ <https://www.fsa.go.jp/cpaaob/>
- ・ 公認会計士試験について
  - ・ <https://www.fsa.go.jp/cpaaob/kouninkaikeishi-shiken/index.html>
- ・ 日本公認会計士協会
  - ・ <https://jicpa.or.jp>
- ・ 会計大学院協会
  - ・ <http://www.jagspa.org>